

〈5〉第6学年実践記録

1 単元名・教材名 「My Best Memory～最高の思い出を伝えよう～」
『We can!2』Unit7 「My Best Memory」

2 単元の見積

- 学校行事について、聞いたり言ったりする。 (知識・技能)
- 学校行事について伝え合ったり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。 (思考力・判断力・表現力)
- 他者に配慮しながら、思い出の学校行事について伝え合おうとする。 (主体的に学習に取り組む態度)

3 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
・ 学校行事について、聞いたり言ったりしている。	・ 学校行事について伝え合ったり、例を参考に語順を意識しながら書いたりしている。	・ 他者に配慮しながら、思い出の学校行事について伝え合おうとしている。

4 関連する学習指導要領における領域別目標

話すこと [やり取り]	ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問したり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。
話すこと [発表]	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

5 単元観

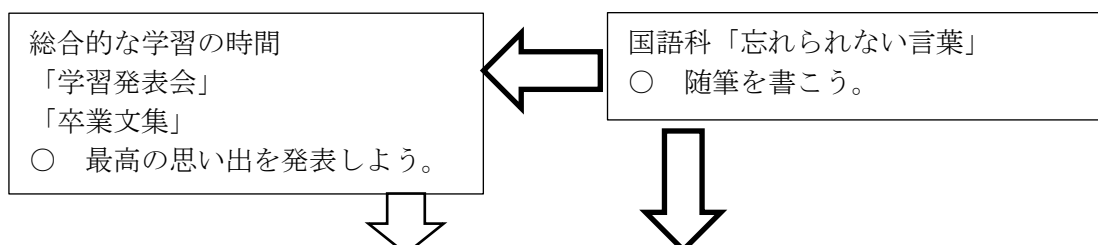
本単元は、小学校卒業を前に今までの学校生活を振り返る。この自然な行為に過去形が必要になってくる。本学級でも卒業に向けて文集作りをしている。そのような中、ここでは **Unit5** で導入された過去形の使い方を学習する。小学校では音声中心であるということから、児童に音声で現在形と過去形の違いがより分かりやすい不規則動詞を中心に扱うこととしている。

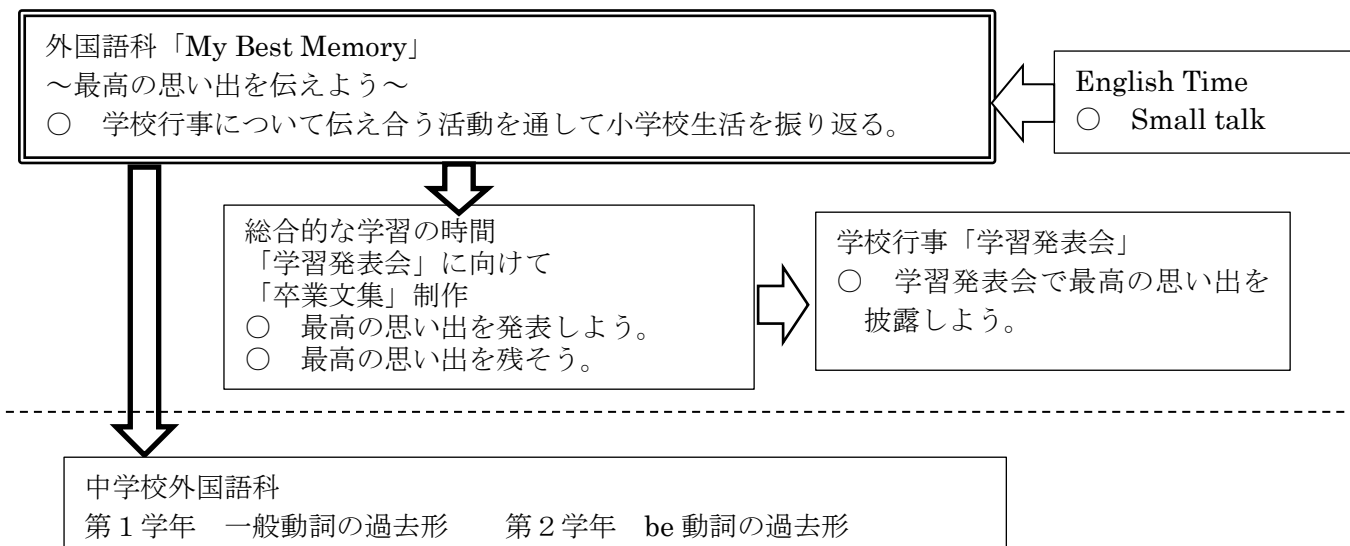
今回、卒業の前に小学校での生活を語りたいという思いを実現するために過去形を導入している。学校生活の中でも小学校での6年間は最も長い。その生活を終えようとする節目に自らの生活を振り返ることはとても有意義であり、それを英語で表現することで子どもたちの生活に自然に英語が入っていくことになる。

さらに、最後の保護者授業参観に向けて、自分たちの思い出や成果を家族の方々に聞いてもらうということで、相手に配慮して伝える英語を話さなければならない。また、学習発表会に向けて劇の台本を作る・卒業文集に残すという二つの書く必然性が生まれる。またこの二つは同じ書く活動であっても、二つの意味合いがあり、「自分が読むために書く」「他者も読むことができるように書く」といった点で書く必然性を見出させたい。

また、**Small talk** を続けることで、会話をする楽しみを知り、語彙や表現が増えることで、話すことのできる内容に広がりをもたせられるようにしたい。

6 関連構想図





7 本時案

(1) 本時のねらい

学校行事について伝え合い、表現を広げたり、主語と動詞を意識しながら書いたりする。

(2) 展開 (第6時)

学習活動	教師の指導・支援(●HRT, ▲ALT ■小中連携担当教員)	学習評価
1 Greeting	●▲■ 英語で挨拶をした後、気分や天気、曜日、日付、好きなものなどについて尋ねることで、日常的に使える英語表現に慣れ親しむことができるようにする。	
2 Review	▲● フラッシュカードで春から順番に行事の言い方の復習をする。 ●■▲ 季節ごとにフラッシュカードを減らし、最後に本時のカードを残して、再度練習することで、本時で使う単語を意識させる。	
3 Aim	Aim 秋の行事について対話をして、表現を広げよう。	
4 Demonstration	▲■ 秋の行事について Small talk をする。 ■ : What's your best memory? ▲ : My best memory is～. ■ : Why? ▲ : Because～. ▲ : How about you? ■ : My best memory is～. ▲ : Why? ■ : Because～.	
5 Practice ・秋の行事について ペアで定型文を練習する。	● 話し方のポイントを確認することで他者のことを考えて話ができるようにする。	
6 Demonstration	▲■ 秋の行事について Small talk をする。	
7 Activity① ・秋の行事について ペアで練習する。	●■ 使えるような表現を事前に確認することで児童がスムーズに Small talk をできるようにする。 ●■▲ 机間指導で困っている児童にアドバイスをすること	

<p>秋の行事についてペアを変えて Small talk をする。</p> <p>8 Activity②</p> <p>9 Activity③ ・参観者と Small talk をする。</p> <p>10 Comment time</p>	<p>で、自信をもってできるようにする。</p> <p>(中間交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 使った表現・使いたい表現を聞くことで、語彙・表現を増やす。 ▲ 誤った発音があれば、ALT が正しい発音をして児童の気付きを促す。 ■ 色を変えたカードに使った表現・使いたい表現を書くことで、主語と動詞を意識させる。 ● 話し方のポイント・よかった表現について確認することで、2回目の Activity に生かすことができるようにする。 ■ 中学校に向けて、児童が気付かなかった使わせたい表現を教えることで、表現を広げられるようにする。 ● 主語+動詞または過去形を意識して話すように確認することで既習の内容を生かす。 <ul style="list-style-type: none"> ●■▲ 新しい表現を使えるように促す。 ●■▲ 机間指導で困っている児童にアドバイスをする。 <p>(中間交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 使った表現・使いたい表現を聞くことで、語彙・表現を増やす。 ▲ 誤った発音があれば、ALT が正しい発音をして児童の気付きを促す。 ● 話し方のポイント・よかった表現について確認することで、児童が次の活動で生かせるようにする。 ■ 使わせたい表現が使えていた児童を取り上げ、称揚することで、より意識して Small talk ができるようにする。 ■ カードに、使った表現・使いたい表現を書くことで、次の活動で生かせるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ● 同じ行事ごとに集まり、使えそうな表現を自分のワークシートにメモをするよう指示する。 ● 次の Small talk で何を使うのか決めて再度 Small talk をするよう促すことで、表現を広げること意識させる。 ●▲ 4線を意識して書くように机間指導する。 ■▲ 発音が分からない児童に指導する。 <ul style="list-style-type: none"> ● 自分が使いたい表現を意識させることで、表現に広がりをもつことができるようにする。 ▲ 誤った発音があれば、ALT が正しい発音をして児童の気付きを促す。 <ul style="list-style-type: none"> ● 次の観点で振り返りを行うことで、自分や友達の変容やよさに気付くことができるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・学習した表現を使って友達と話すことができましたか。 ・分からない言葉や表現を先生や友達に聞くことができましたか。 ・ゴールに向けてどのようなことを学ぶことができましたか。 	<p>◇学校行事について伝え合い、表現を広げている。 【思考力・判断力・表現力】 (発言・行動)</p> <p>◇学校行事について伝え合い、語順を意識しながら書いている。 【思考力・判断力・表現力】 (発言・記述)</p>
--	---	---

<p>11 Greeting</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋についての言い方が分かったし、話す時には〇〇という表現も使えることが分かった。 ・ 次は〇〇という表現も使ってみたい。 <ul style="list-style-type: none"> ● 友達との関わり，ゴールに向けてどの程度達成できたかを確認し評価する。 ▲ 発音を中心にどうであったかを評価する。 ■ 書く活動・中学校に向けてという観点で評価する。 <p>上記の3点について振り返ることで本時の内容について深めることができるようにする。また，児童を称揚することで，児童の英語への興味や関心をより高められるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 気持ちのよい挨拶をすることで，次時への意欲を高めることができるようにする。 	
--------------------	--	--

8 板書計画

<table border="1"> <tr><td>Greetings</td></tr> <tr><td>Warm up</td></tr> <tr><td>Review</td></tr> <tr><td>Aim</td></tr> <tr><td>Presentation</td></tr> <tr><td>Practice</td></tr> <tr><td>Activity</td></tr> <tr><td>Comment time</td></tr> <tr><td>Greetings</td></tr> </table>	Greetings	Warm up	Review	Aim	Presentation	Practice	Activity	Comment time	Greetings	<p>Goal</p>	<p>Our best memory を学習発表会でひろうしよう。</p>
Greetings											
Warm up											
Review											
Aim											
Presentation											
Practice											
Activity											
Comment time											
Greetings											
	<p>Aim</p>	<p>秋の行事について対話をして，表現を広げよう。</p>									
	<p>行事絵 カード</p>	<p>行事絵 カード</p>	<p>行事絵 カード</p>	<p>What's your best memory? My best memory is～</p>							
	<p>行事絵 カード</p>	<p>行事絵 カード</p>	<p>行事絵 カード</p>								
	<p>行事絵 カード</p>	<p>行事絵 カード</p>	<p>行事絵 カード</p>								

9 研究の視点から実践を振り返って

言語活動の工夫

- ・ **Small talk** について
 本単元では，自分の思いを自分自身が確認したり，より深めたりするため **Small talk** を取り入れた。
 さらに，会話を続けるためにリアクションを考えたり，自分たちが経験したことを分かりやすく伝えるためにジェスチャーを使ったりと自ら考え，楽しみながら活動する様子が見られた。
 本時では参観者と **Small talk** をすることで，新たな表現を習得することができた。**Small talk** の中で，「言いたかったけれど言えなかった言葉」「使うことができた表現」「使えそうな表現」を全体で交流することで，1回目よりも2回目の **Small talk** のほうが広がりをもつことのできる活動となった。
- ・ 中間交流について
 本時では，2回，中間交流の場を設けた。1回目は言葉を広げることをねらいとし，言いたかった言葉や友達が言っていた使ってみたい言葉を紹介し合った。また，表現の幅を広げるために，**can** や **do** を使うと会話が続くことを小中連携担当教員から紹介をし，**Activity**②へとつなげた。2回目の中間交流の場では，モデルとなる児童を選び，紹介した。1回目の中間交流で紹介した言葉を使っている児童，リアクションをし，会話を続けている児童をモデルとして示すことで，児童のメタ認知の力を育て，次へ生かすことができるように促した。そうすることで **Activity**③では，さらに会話を続けようと工夫する中で，自分の考えた方法や表現に広がりをもたせることができた。

A : What's your best memory? B : My best memory is Sports Day. A : Why?
 B : Because...1年生を助けたから (何というのだろう?)。B : Help? 1st grade? Oh! You are やさしい!
 (何というのだろう?) A : Thank you. How about you? B : My best memory is ~...
 HRT : 言いたかったけど言えなかった言葉ありませんか?
 B : How do you say やさしい in English? ALT : kind.
 B : (覚えておきたいな。卒業文集で書きたいな。) Spell please! HRT : OK! K-I-N-D...

単元構成の工夫

単元ゴールの設定

本単元では、学習発表会で披露することをゴールの設定とした。自分たちが1年間で体験したことを保護者に伝えるということで、内容を分かりやすく伝える必然性、今までお世話になった保護者へ自分の思いを伝える必然性が生まれた。また「台本を作らない Small talk による即興劇」をするということで毎時間、違う表現を使いながら自分の思いを深めていくことができた。即興劇のため、よりたくさんの表現を知る必然性も生まれた。

本単元が終わった後には、児童朝礼で全校児童に披露し、台本がないことで、いつでも、何度でも披露できるようになり、英語が自分のものとなった様子であった。



◎ 保護者の感想より

英語での発表会と聞いて、最初は6年生の1年間の出来事や行事もひたひたに振り返る劇とは思っていませんでした。1年の年よりも今年1年は行事がたくさんあり、子供達1人の色々な思いがたくたくと話し合っている姿へ...春夏秋冬を自分なりの英語で感情豊かにスベテ出来見ている姿も色々な感情が伝わってきて、子供達の楽しく元気なスベテこの年を振り返る事が出来ました。将来の夢も1人1人上手に立派に発表出来れば良いと思います。最後子供達

学習発表会での子供達には、びっくりしました。
 英語での劇、それも毎回違った即興劇だったこと。
 とても自然に英語をしめたり、みる側にも、分かりやすく、
 たよんといっても子供達がとてもとても楽しそうに演じていてよかったです。

(「赤米子ども交流事業 in 新本」でわたがしショップに並んでいた様子の即興劇に保護者も参加)

A : What color do you like?

保護者 : I like red.

B : You like red. You like red. It's strawberry taste. Here you are.

保護者 : Thank you.

A : How was it?...

【相手が選んだ色に合わせて、その場で考えて味を決める様子。】

◎ 児童の感想より

- 最初はうまく伝えられないと思っていただけで、いろいろアドバイスをもらって成功したと思います。みんなが本気で取り組んでいるからおもしろいし、保護者の皆さんに伝わったと思いました。みんなでカバーし合ったから成功したと思います。しっかり練習をして英語の勉強ができたし、みんなともっと仲良くなりました。楽しかったです。
- 今回の学習発表会は、今まで話し合ってきた劇が大成功してよかったです。自分の演じたシーンは練習の時とだいぶ違いましたが、いろいろなアレンジをしていて楽しかったです。学校全体に発表するのも楽しみです。

書く活動について

自分が知りたい・覚えておきたい言葉を「Spell please.」でALTや小中連携担当教員に伝え、忘れないためにメモとして書き写すことをした。最後に卒業文集に載せるということで書くことにも必然性があるため、新しい表現でも意欲的に書き写す様子が見られた。HRTが一音ずつ発声しながら書き、電子黒板に書いてあるものと比べてスペルミスがないか児童自身が確認し、自ら間違いに気付き直す様子もあった。

10 反省と考察

単元のゴールが、自分たちの思い出を既習表現を使って伝えるという明確でやってみたいと思えるものであったため、最後まで意欲的に活動することができた。一方で児童は自分の思いがたくさんあるので、その思いすべてを英語で表現することは難しかった。既習表現に言い換えたり、簡単な表現を新しく習得したりと工夫の様子が見られたが、児童によっては難しいと感じていたかもしれない。

書く活動については、4線に丁寧に書き写すことができていたが、初めて出てくる単語もあったので写し間違いも見られた。卒業文集に載せるということから正確さも必要となるが、書く活動に対して苦手意識をもたせないためにも指摘をどの程度していく必要があるのかが課題として残った。見たり、聞いたりして確認し、自ら気付くことのできる環境を整えていく必要があると感じた。

11 単元計画

6 年生	7 単元名	10 時間単元
<p>単元目標</p> <p>【知】学校行事について、聞いたり言ったりする。 【思】学校行事について伝えあったり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。 【主】他者に配慮しながら、思い出の学校行事について伝え合おうとする。</p>	<p>WC2-U7] My best memory. ~最高の思い出を伝えよう~</p>	
<p>既習単元</p> <p>「When is your birthday?」(5年) 「He is famous. She is great.」(6年) 「My Summer Vacation」(6年)</p>	<p>中学校 英語科</p> <p>第1学年 一般動詞の過去形 第2学年 be動詞の過去形</p>	
<p>学校行事</p> <p>○学習発表会 ○卒業文集</p>	<p>関連する活動</p> <p>国語科 「忘れられない言葉」 ○小学校生活で経験したことを題材に随筆を書く。 総合的な学習の時間 「学習発表会」に向けて ○最高の思い出を発表しよう。 「卒業文集」制作 ○最高の思い出を残そう。</p>	<p>必要表現</p> <p>・best・memory ・行事 ・ceremony ・entrance ・field trip ・swimming ・summer ・variety ・year ・assembly ・marathon ・shrine ・track ・record ・summit</p>
<p>ねらい</p> <p>過去の楽し方が分かるように、学校行事について話す内容を伝える。聞いて内容を分る。</p>	<p>①</p> <p>Japanese Culture (入学式・遠足)</p>	<p>⑧</p> <p>学校行事について伝えあった。他者に配慮しながら、思い出の学校行事について伝えようとする。から書いたりする。</p>
<p>帯活動</p>	<p>②</p> <p>Small talk (Field Trip)</p>	<p>⑨</p> <p>例を参考に語順を意識しながら書く。卒業文集にMy best memoryを載せる。</p>
<p>導入</p>	<p>③</p> <p>World of the school life (Sports Day)</p>	<p>⑩</p> <p>卒業文集にMy best memoryを載せる。</p>
<p>中心活動 Activity</p>	<p>④~⑦</p> <p>Small talk (春・夏・秋・冬) 中間交流 Small talk (春・夏・秋・冬) 中間交流 Small talk (春・夏・秋・冬) 振り返り</p>	<p>必要言語</p> <p>・best・memory ・行事 ・ceremony ・entrance ・field trip ・swimming ・summer ・variety ・year ・assembly ・marathon ・shrine ・track ・record ・summit</p>
<p>評価場面</p>	<p>⑧</p> <p>Small talk (自分の思い出の行事) writing 振り返り</p>	<p>既習表現</p> <p>・職業 ・動作 ・動詞の過去形 (went, ate, saw, enjoyed, was) ・スポーツ ・動物 ・飲食物 ・状態 ・気持ち ・身の回りの物 ・教科</p>
<p>●「自分の思い出を伝える」活動 ▲「思考する」活動 ■「英語表現を活用する」活動 □書く活動</p>		